

## 2021 年度春季大会優秀講演発表賞受賞者

2021 年度春季大会は、2021 年 6 月 1 日(火)～3 日(木)の 3 日間、オンラインで開催しました。学生会員の講演発表のうち、下記の 7 名の学生会員に優秀講演発表賞を授与することが決定致しました。

青 木 勇 太 (東京大学)

「フラッシュ現象を利用した  $\text{Al}_2\text{O}_3$  - GAP 共晶セラミックスの作製」

飯 星 眞 (京都大学)

「異常高原子価 Fe イオンを含む A サイト層状ダブルペロブスカイト酸化物  $R\text{BaFe}_2\text{O}_6$  ( $R=\text{Sm}, \text{Nd}$ ) における逐次相転移」

小笠原 史 織 (岡山大学)

「YSZ 単結晶基板上における  $\text{YbFe}_2\text{O}_4$  エピタキシャル薄膜の面内配向制御」

久 下 直 也 (東北大学)

「窒化ホウ素を固体窒素源に用いた第 5, 6 族金属窒化物の合成」

中 元 綾 乃 (東京大学)

「フラッシュ焼結が及ぼす  $\text{Y}_2\text{O}_3$  の結晶構造への影響」

水 本 隆 太 (京都大学)

「メカニカルミリングによる Fe - Ni 合金の作成とその物理化学特性」

東 山 由 樹 (甲南大学)

「湿式法により合成した  $\text{Li}_{10+x}\text{Ge}_{1+x}\text{P}_{2-x}\text{S}_{12}$  固体電解質の電気化学的特性」

(総評)

優秀講演発表賞の対象講演は、2020 年度秋季大会に引き続き、オンデマンド動画による発表を頂いた。オンラインに慣れられてきたこともあり、全体としては、概ね解り易く、聞きとり易い発表でありましたが、審査委員より次のようなコメントがありましたので、学生の方の今後の発表の参考にして頂きたいと思います。

- ・発表の際の各スライドにおいて強調部分をわかりやすくするとさらに完成度が挙がると思います。
- ・オンデマンド動画はやり直しが利くので、発表の話し方などは、完成度を上げることができると思います。
- ・講演時の「次に」「続いて」というスライド間のつなぎ方は、単純な時間経過や順序しか意味しないことから、「A ということを証明するために、B を行ってみると」など、スライドの関係性をしっかりと説明するような展開を行い、一つのストーリーとして紹介するとより説得力が増すと思います。

(一社) 粉体粉末冶金協会 会長 吉村一良